燕・弥彦総合事務組合通信

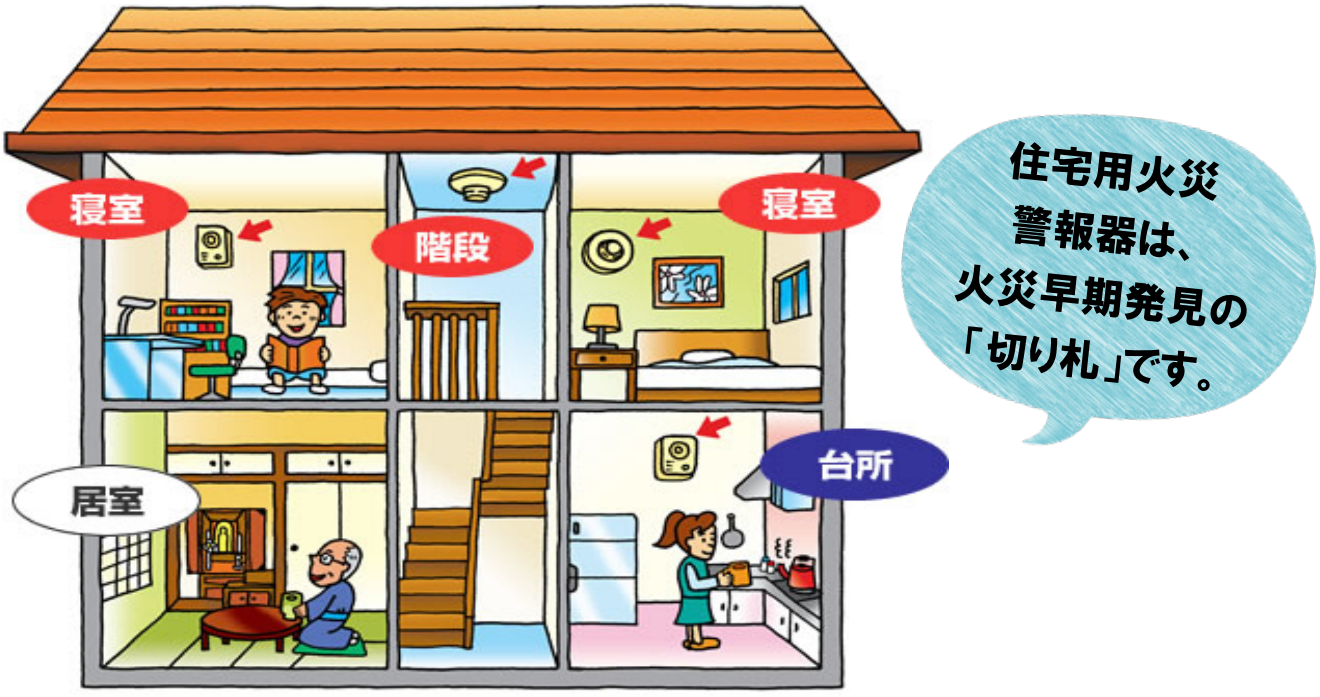
燕・弥彦総合事務組合は、燕市と弥彦村で構成している一部事務組合で、燕市と弥彦村管内の「消防・救急」、「ごみ処理場・最終処分場」、「斎場」の管理運営を行っています。
「燕・弥彦総合事務組合通信」では、皆さんの生活に身近な組合の情報を定期的にお知らせしますので、ぜひご覧ください。

Topic 1 住宅用火災警報器は取り付けましたか？

2006 年６月１日に改正消防法が施行され、全ての住宅（一般家庭）に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

必ず設置が必要な場所

【寝室】就寝中の逃げ遅れを防ぐために、寝室に設置します。
【階段】寝室が２階以上の場合、階段にも設置します。



定期的に点検を実施しましょう！

取り付けてから年数を経過した住宅用火災警報器は、電池切れや本体の故障など、正常に作動しないことがあるため、定期的に点検を行いましょう。10 年を目安に交換をおすすめします。

■燕・弥彦総合事務組合消防本部 予防課☎0256-92-1122

Topic 2 防災訓練、消防演習が開催されました！

【燕　市】

７月１日（日）燕市総合防災訓練が開催されました。

午前中は住民避難訓練が行われ、避難所での防火講話、ＡＥＤ講習、初期消火訓練等が行われました。

午後からは、燕市役所駐車場でより実践的な災害対応訓練として倒壊家屋からの救出訓練や、救護所設置、負傷者の搬送訓練、放水訓練などが行われました。

燕市役所駐車場

【弥彦村】

６月 17 日（日）弥彦村役場駐車場で弥彦村消防演習が行われました。

各分団とも息の合った行進や、小型ポンプ操法を披露したほか、弥彦小学校４年生による「ちびっ子消防隊」の放水披露も行われ、児童の真剣な放水披露に会場からは大きな拍手が送られていました。

弥彦村役場駐車場

Topic 3 ポンプ操法競技会、新潟県消防救助技術大会で好成績を収めました！

■第 69 回新潟県消防大会ポンプ操法競技会に出場！

７月 29 日（日）胎内市において第 69 回新潟県消防大会が開催され、燕市消防団がポンプ操法競技会（小型ポンプ）に出場し４位となりました。

連日の猛暑の中、消防団の仲間とともに訓練を重ねたことにより、大会当日は訓練の成果を発揮することができました。今後も住民の皆様の安心安全のため、訓練に取組みたいと思います。

■全国大会出場決定！

７月 ４ 日（水）県内消防本部から選抜された救助隊員が日頃の訓練成果を競う第 35 回新潟県消防救助技術大会が新潟市消防局において開催されました。

当組合消防本部のほふく救出チームが 17 チーム中、1 位と優秀な成績を収め、京都市で開催される全国大会に出場することになりましたが、台風 20 号の影響で全国大会が中止となっています。残念！来年また挑みます。

Topic 4 消防団員を募集しています！

■地域の防災リーダーとして、バイタリティーのある消防団員を求めています。

消防団員は、地域を守ることを目的としていますので、居住（勤務）している地域を管轄している消防団に所属し活動することになります。

資料提供：新潟県

消防団員の身分

消防団員はその任務の重要性から、その身分は「特別職の地方公務員」です。

■燕・弥彦総合事務組合消防本部 消防団係☎0256-92-1121

Topic 5 食品ロスを減らしましょう！

■もったいない！食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らしましょう！

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約 646 万トン（平成 27 年度環境省推計）にも上ります。これは、日本人 1 人当たりに換算すると、お茶碗 1 杯分の食べ物が毎日捨てられている計算になります。

食品ロスは、食品メーカーや卸、小売店、飲食店、家庭など食べることに関係する場所で発生していますが、その半分近くは家庭から出ていると推計されています。

■家庭での食品ロス

- 調理の際に食べられる部分を捨てている
- 食べ残し
- 冷蔵庫などに入れたまま期限を超えた食品

家庭での食品ロスを削減できれば、食べ物の廃棄量を減らすという環境面だけでなく、家計面でもメリットがあります。家庭から食品ロスを減らす工夫をしてみましょう。

■食品ロス削減の工夫

★食材を買いすぎず、使い切る、食べ切る！

- 買い物へ行く前に在庫を確認しましょう。
- 残っている食材から使いましょう。
- 料理は食べられる分だけ作りましょう。
- 冷蔵庫などの整理する日を決めましょう。

皆さんのご家庭でもこのような取組みを始めてみませんか。

Topic 6

紙ごみを資源に変えましょう！

「雑がみ」は資源ゴミです！

チラシ、菓子の箱、ティッシュの箱、封筒、はがきカレンダー、包装紙などは「資源ゴミ」に出してください。

■家庭から排出される燃やすごみのうち、約６割は紙

燕市・弥彦村の家庭から排出される燃やすごみの中で紙類は 6 割を占め、その約半分が雑がみと言われています。雑がみとは、新聞、ダンボール、紙パックを除く、リサイクルできる紙類のことです。雑がみもリサイクルすれば燃やすゴミの量も減り、ごみ処理施設の寿命も延びることになります。燃えるごみとして出されているチラシや包装紙、カレンダーなど分別すれば資源となります。皆様のご協力をお願いいたします。

雑がみの出し方

ふせんや紙切れも、古封筒などにまとめて！

■燕・弥彦総合事務組合 環境センター☎0256-93-4704

燕・弥彦総合事務組合

管 理 者 燕 市 長　鈴 木　　力
副管理者 弥彦村長　小 林 豊 彦
【編集・発行】燕・弥彦総合事務組合 事務局
〒959-0248　新潟県燕市吉田浜首 408-1
TEL：0256-92-1210　FAX：0256-92-1129
Email：soumu@tysogo.jp

燕・弥彦総合事務組合　検索